

大真名子山行報告

【山行日】2023年7月2(日) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園P AM 5:30
【費 用】マイカー2台 : 2,300円
【メンバー】 CL:鈴木、SL:藤原ト
飯口、飯野、大塚、嶋田、関、福島、藤原7
【コースタイム】栃木市運動公園P5:30=
梵字飯場跡 P7:00/7:15~林道分岐 7:55~
志津乗越 8:25/8:35~大真名子山山頂
10:45/11:05~志津乗越 12:40/13:10~
梵字飯場跡P14:10/14:20=大谷PA
15:35/15:40=栃木市運動公園P16:10



山行アンケートで大真名子山のリクエストがあり、小真名子山までは行かないよう念を押された。



車2台に分乗し栃木市運動公園を5時30分に出発し、日光宇都宮道からイロハ坂を経由して梵字飯場跡駐車場に向かった。

三本松駐車場に寄ってトイレを済ませ、裏男体林道を走って梵字飯場跡駐車場に着く。十数台止められる駐車場はすでに満車で、入口と出口のわずかなスペースにかろうじて2台止められた。出発の準備を整え、ストレッチを済ませたら出発し林道を歩いて行く。林道歩きは辛いと思っていたが、皆さんおしゃべりしながら楽しそう。傾斜もゆるく足元に

気を使わず歩けるので、おしゃべりしたり花を見たり気ままに歩いて楽しそう。途中で3台の車が我々を追い越して行ったが、後でNHKの日本百名山のロケ隊だと分かる。林道歩きは快調に進み、

予定よりも30分早く志津乗越へ着いた。先ほど追い越して行った車が止まっており、カメラや機材の荷造りをしていた。ガイドのような方に「登山番組の撮影ですか？」と聞くと「そうです」との返事。さらに「何の番組ですか？」と聞くと「日本百名山です。9月に放映します。」と言っていた。我々も休憩を取り、これからの急登に備えトマトや菓子を食べて水分も補給する。我々はここから北に向かって進み、笹藪の登山道を登って行く。笹藪で登山道は見えず、赤テープや赤と黄色のマークを頼りに歩いて行く。



いきなり大きな石碑と八海山神像が現れ、ここを過ぎると笹地獄から解放された。

この先はシラビソ等の針葉樹林帯の道となり、ジグザグと細かく曲がりながら高度を上げて行く。尾根上の登山道になり、急坂を登って行くと、大きな岩の上に三笠山神の銅像が立っていた。岩の



上は展望が良さそうなので、岩を登って銅像が立つ場所に出る。思った通り展望が得られ、太郎山や日光白根山の展望が素晴らしい。全員が登った所で記念写真を撮り、若い男性二人組も登って来てお互いに写真を撮り合う。ところがここから岩を下りるのが難しく、皆さん慎重に降りたので結構時間が掛かった。さらに急登が続き、千鳥返しと言われる本日のコース中一番の難所が待っていた。急峻な岩場をクサリやハシゴで越えて行く。難所を乗り越え少し登ると大真名子山山頂

に着く。山頂には御嶽神社と蔵王権現の青銅像が立ち、この山が修験道のコースであることがうかがえる。蔵王権現が建つ岩の上に登ると、男体山や女峰山、太郎山等が見渡せ、この山が日光ファミリーの中心にあることが良く分かる。ここでランチタイムの予定だったが、場所が狭いので志津乗越まで下って食べることにする。昼食の時間が遅くなるので、プリンや菓子などを食べ腹ごしらえ

をしてから下山開始する。往路をひたすら下り、志津乗越に着いたらランチタイムをとる。皆さん丸太のベンチや岩に腰を下ろし、カップ麺やスープとパンなどをいただく。お惣菜やシフォンケーキなども出て、豪華なランチをいただいた。広々とした場所でゆっくりランチを楽しめ大満足。お腹がいっぱいになったら下山開始する。朝登って来た裏男体林道を下って行くが、緩やかな傾斜の舗装道歩きは自然に足が前に出て軽快に下れる。道路脇に咲く小さな花を見つ



けては「何の花だろう？」と賑やかな会話が聞こえてくる。皆さん緩やかな下りは楽なようで、あちこちで賑やかな会話が聞こえてきた。1時間歩くと梵字飯場跡Pに着き、靴を履き替えたなら車に乗り帰路につく。途中、大谷PAに寄って休憩し、トイレや買い物を済ませたら出発し予定通り栃木市運動公園Pに帰着した。